

春合宿の感想

盧叢珊

二日間の春合宿が終わりました。先生方、クラスメートたちと一緒に二日間の研修旅行は初めてなので、ずっと前から楽しみにしていました。何か月間の準備を経て、いよいよ三月下旬の山梨春合宿を迎えることができました。

山梨県は富士山に恵まれていて、全国にもよく知られている観光地です。ということで、キャンパス・アジア生の皆さんは去年の年末からいろいろ調べてきて、充実したスケジュールを作りました。



25日の朝、キラキラ光るシャンデリア付きの豪華なバスに乗って、道端の春景色を楽しみながら山梨について話し合っているうちに、私たちは山梨に着きました。車が山道を進むに連れて、雲に隠れた富士山の姿はどんどんきれいに見えてきました。宿舎にいる時は、屋上に上がるにしても、天気がよくなないと、または運がついていないと、豆よりやや大きめの富士山の「おでこ」くらいしか見えませんでした。今日はようやく、富士山の気高い姿が眺められました。雪に覆われている富士山が青い空と相まって、美しい対照になりました。近所の桜が生き生きと咲いています。緑に彩られた春なのに、遠くの富士山は水色と灰色に見えていました。少し違和感を感じるというか、むしろこんなに間近で富士山を見ることに実感が湧いてきませんでした。

宿泊先は人気の合宿ホテルだそうです。制服を着ている高校生たちの群れと出会いました。彼らは大声で外国人の私には分かりにくい若者言葉を交わしていましたが、その盛り上っている雰囲気はなんとなく伝わってきました。私たち四人の部屋は洋和室で、ベットが三つと畳の空間がありました。相談した結果、他の三人は今まで一度も畳を体験したことのない私に畳を譲ってくれました。思いがけないことに、今回こそしっかりと畳を体験しようと思った私でしたが、頭が枕に当たった途端にグウグウ寝てしまいました。残念ながら、また今度の畳体験を楽しみにしましょう。ホテルで夕食のバイキングをする



時、意外に中国語が耳に入ってきました。中国からの観光客らしいです。私も「いつか中国にいる親を山梨に連れてきたいな～」と思いました。きっと自然に恵まれている山梨とこの閑静な里山に置かれた居心地良いレイクホテルに惚れてしまったことに違いないでしょう。

夕方の発表会では、先生とクラスメートたちから貴重な意見やコメントをたくさんいただきました。自らの研究は初めてで、研究テーマを決めて、文献を拝読したり、研究計画を立てたり、発表を準備したりするのがちょっと大変でしたが、研究内容をよく聞いて、念入りに指摘していただいたので、とても勉強になりました。



夜の懇親会では、みんな気楽な雰囲気になり交流を進め、知らず知らずのうちに心の扉も徐々に開かれました。

今回の春合宿のおかげで、私は自然、また人との触れ合いについて学ぶことができました。これからこの二日間の思い出を振り返るときは、きっと思わず微笑むでしょう。